

# 地元書店から資料の96%※を購入

～地域の文字・活字文化を下支え～

鳥取県立図書館(鳥取県鳥取市)

URL: <https://www.library.pref.tottori.jp/>

テーマ

図書館と書店等が連携した経営・運営

取組概要

地元書店からの購入を原則とする鳥取方式の堅持

取組詳細

※特殊な専門書や外国語図書、直販雑誌など(4%)を除き、書店で購入できる資料(図書、雑誌、CD、DVD)は、地元書店から購入している。

■ 図書館で購入する図書・雑誌などは原則地元書店から購入している。

・地元書店とは、鳥取県書店商業組合加盟の書店

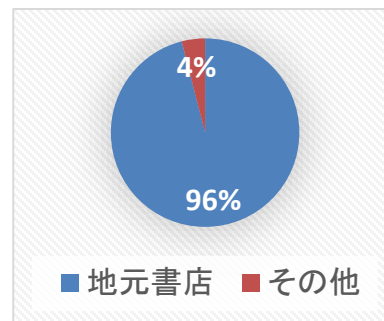
・令和4年度は全体の約96%

・電子書籍についても、地元書店を通じて契約して使用している。  
(全国で他に例がないと思われる)

・地域の出版社が作成した電子書籍の購入も行う予定としている。

・購入図書の約半数は、書店が持ち込む見計らいで購入。  
図書館員は現物を確認しながら選書を行っている。

・県立図書館が地元書店から資料を購入し、経営の下支えすることで地域の書店の存続に寄与している。



地元書店からの購入割合(令和4年度)



見計らい選書の様子

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所

鳥取県鳥取市尚徳町101

人口

(図書館が所在する市町村)

54万人

職員数(うち有資格者数)

49人(31人)

蔵書数

約 127万冊

取組の成果と今後

・図書館は書店からの見計らいで選書し、利用者に対して内容を確認した資料を提供することができている。

・見図い選書により、大量の新刊から図書館の資料を取捨選択する技量を高めている。

・規模の小さな地域の書店にとっては、県立図書館からまとまった量の発注があることで、経営の下支えとなるとともに販売実績を上げ、新刊図書の配本数を増やすことができている。

・地元書店の存続により、県民の読書・情報環境が維持できている。